信州大学医学部附属病院　信州がんセンターに
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「がん遺伝子パネル検査後治療到達率と相関するバリアント・診療情報に関する臓器横断的研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	がん遺伝子パネル検査後治療到達率と相関するバリアント・診療情報に関する臓器横断的研究
所属(診療科等)	信州がんセンター
研究責任者(職名)	野口卓郎(講師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	がん遺伝子パネル検査後、実際に新しい抗がん薬による治療を受ける方は 10%程度と言われており、治療到達率の向上は課題の一つです。そのため、国のデータベース(C-CAT)に登録されたがん遺伝子パネル検査を受けた方の遺伝子変異情報、診療情報を後方視的に解析することで、今後のより良いがんゲノム医療の開発に結びつけることを目的とします。
対象となる方	2019 年 6 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの期間に全国の医療機関において保険診療でがん遺伝子パネル検査を受けた方で、C-CAT にがん遺伝子パネル検査の変異結果と診療情報が登録されており、さらに当該情報の二次利活用に同意いただいている方。二次利活用とは、同意を受けた時点では特定されない将来の研究のために利用・活用されることをいいます。
利用する診療記録	がん遺伝子パネル検査結果(遺伝子変異情報)、診断名、年齢、性別、身体所見、治療歴、診療検査結果など
研究方法	本研究では C-CAT に登録されたがん遺伝子パネル検査の変異結果と診療情報(治療歴とその効果など)について、あらかじめ C-CAT とデータ利用に関する契約を締結したうえで電子的配信にて信州大学医学部附属大学病院に送付されます。このデータを用いて、治療到達率向上に向けた課題を明らかとしていきます。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名)：　野口卓郎(信州がんセンター・講師) 電話:0263-37-2054

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。